

【議案第 1 号関係】

問 宇野 裕委員

- 1) 院内保育施設整備事業の内容を教えてください。また、病院からのニーズを満たしているのか。
- 2) 食品監視事業について、現在、偽装表示などもあり強化すべきと思うが、予算が少し減額である。大丈夫なのか。どのように監視事業を行っていくのか。

答 瀧村医療整備課長

- 1) 目的は、院内保育施設を設置する医療法人等に対して施設整備の一部を補助し、子供を持つ看護職員の離職を防止し、再就業及び定着を促進させるものである。
補助対象は、市町村、日赤、医療法人、学校法人、社会福祉法人である。
当該補助事業により、該当医療機関の需要を満たしていると判断している。

答 平山衛生指導課長

- 2) 減額については、保健所に配置してある食品衛生監視車が 14 年度は更新の年に当たらなかったため減ったものである。
保健所においては、専門職員である食品衛生監視員が生活衛生課及び食品広域監視班等に配置されており、お互いに連携を図りながら、大規模店舗、製造施設や市場等の流通拠点に対して、重点的に効率的・効果的な監視を実施している。
また、食中毒が発生した場合に、県民の健康に与える影響が大きい集団給食施設や広域的に流通する食品を製造している施設に対して重点的に監視を行い、県民の健康被害の未然防止を図るとともに、今後とも効果的な監視指導により、監視体制の強化を図っていきたい。

問 宇野 裕委員

偽装表示などはどのように監視していくのか。

答 平山衛生指導課長

食品衛生法では公衆衛生上の見地から表示を決めているので、原産地表示は義務づけられていない。

しかし、監視指導の際に生産部局と連携を取りながら、期限表示等もあるので、表示について監視していきたい。

【議案第55号関係】

問 宇野 裕委員

熟卵業者からの補償については、12月の議会でも質問したが、その後の経過を伺いたい。

答 大村血清研究所管理部長

昨年11月28日の廃止公表後、納入業者には説明を行い、資料を提出してもらうなど、話し合いを行ってきたところである。

鶏卵業者との契約は、平成13年度契約は完了しており、平成14年度は未締結である。難しい問題があり、再三顧問弁護士に相談しているが、状況を踏まえ、今後誠意を持って関係者と話し合っていきたいと考えている。

要望

【議案第55号関係】

宇野 裕委員

熟卵業者について「八日市場市の業者は、『当時の担当者に14年度の値上げを要望したが、13年度の質が悪いので対応できないと言われ、14年度も継続して契約したいと言われた』、また、光町の業者は、『去年は工事で遅れたが、

2月か3月上旬に製造を始めたいと話があった』と言っている。単年度契約といっても、継続性が見られる。口頭であっても合意がなされている。それを一方的な都合でやめる。信頼関係があり、信義則上、温情をもって対応してもらいたい。業者は専門でやっているのでもっとお願いしたい。」との要望があった。
